

# 単元構成表【公民的分野】

平成27年度 北海道教育大学附属函館中学校社会科

単元名	(3) 私たちと政治 イ 民主政治と政治参加
教科用図書での単元名(頁数)	東京書籍「新しい社会 公民」 第3章 現代の民主政治と社会 3節 地方の政治と自治 (p.92-101)
学習指導要領における内容	地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。
学習指導要領における内容の取扱い	イについては、次のとおり取り扱うものとする。 (ア) 調査や見学などを通して具体的に理解させること。
小学校社会科の内容との関連	<第3学年および第4学年> (1) ア、(2) ア・イ、(3) ア・イ、(4) ア・イ、 (5) ア・イ・ウ、(6) ア・イ・ウ・エ <第6学年> (2) ア
中学校社会科の各分野との関連	<地理的分野> (2) ウ(ア)～(キ)・エ <歴史的分野> (6) ア

単元の指導目標		地方自治の基本的な考え方について理解させる。
単元の 評価 規準	社会的事象への 関心・意欲・態度	地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主的な政治について考えようとしている。
	社会的な 思考・判断・表現	地方公共団体の政治に関わる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
	資料活用 の技能	地方公共団体の政治に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
	社会的事象についての 知識・理解	地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治の仕組みについて理解し、その知識を身に付けている。
単元を貫く学習課題		<b>まちの課題を解決し、よりよいまちにするためには、誰が何をすべきか？</b>

時数	題材	指導内容	「単元を貫く学習課題」解決のために習得すべき知識・技能等
		本時の学習課題	
1	1 わたしたちと地方自治	地方自治の本旨である「住民自治」と「団体自治」の考え方や地方分権の推進について わたしたちのまちには、どのような課題があるのか？	地方自治、住民自治、団体自治、地方公共団体、市区町村・都道府県、「民主主義の学校」、地方分権
2	2 地方自治の制度	地方議会・首長の仕組みや役割およびこの両者の関係、直接請求権などの地方自治の仕組みについて なぜ2種類の代表を住民が選ぶのか？	地方議会、条例、首長、市町村長、都道府県知事、二元代表制、直接請求権
3	3 地方財政	地方公共団体の財政に関する状況やその具体的な内容について わたしたちのまちの財政には、どのような特徴があるのか？	財政、地方交付税交付金、国庫支出金、地方債、自治体財政健全化法、市町村合併
4	4 住民参加の拡大	住民が地方自治へ参加する制度や仕組みについて よりよいまちにするために、わたしたちに何ができるか？	住民投票、情報公開制度、オンブズパーソン制度、自治会(町内会、町会)、ボランティア、NPO
5	5 わたしたちの政治参加	地方自治の基本的な考え方について <b>まちの課題を解決し、よりよいまちにするためには、誰が何をすべきか？</b>	*単元で習得したすべての知識・技能等